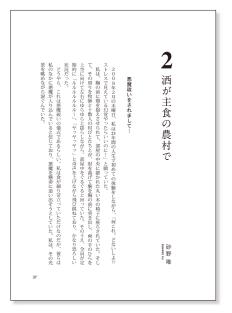


SFENICS 100万人のフィールドワーカー シリーズ foldworker's Experimental Network for Interdisciplinary Communications







フィールドに入る 椎野若菜・白石壮一郎 編

どうやって自分の調査地に入っていったのか? アフリカの農村から北極南極 の雪原まで、調査初期段階のエピソードを中心に紹介。現地の協力者と 出会い、多くを教えられ調査地になじんでいく過程を描くシリーズ入門編。

フィールドの見方

増田研・梶丸岳・椎野若菜 編

学問分野が異なれば、同じものを見ても、同じ場所にいても、同じテーマを 扱っていても、考え方や分野の違いによってフィールドを見る眼が違ってくる。 違いのおもしろさを発見し、研究の新たな可能性を探る。

共同調査のすすめ

文理横断型の学際的な共同調査に参加することで、どのようなことに悩 んだり苦労したのか、そして、どのような発見と自身の成長があったのか。 フィールドワーカーの葛藤と飛躍を、共同調査の経験者たちが語る。

現場で育つ調査力

增田研·椎野若菜 編

フィールドワーカーの養成と教育がテーマ。初学者である学生に関心を もってもらうための工夫、専門家養成のためのさまざまな試みを披露する。 調査技術の体系的伝授が先か? それとも現場力や行動力が重要なのか?

災害フィールドワーク論

被害軽減という社会的な課題のために、狭い分野にとらわれない多様な アプローチが災害調査には求められる。さまざまな分野のフィールドワークを 見渡すとともに、災害の地域性を考えていく。

マスメディアとの交話

研究成果を発信するとき、フィールドワーカーはマスメディアとかかわりをもつ。 メディアに対して、どのようなスタンスをとればよいのか? 報道の結果に対して 調査者たちはどのような意見をもっているのか?

社会問題と出会う

調査をすすめていく過程で、その地域の社会問題と向き合わざるをえなく なったとき、フィールドーワーカーは何を感じ、どう行動したのか? 調査を通して 社会問題が姿を変えながら浮上する局面を生き生きと伝える巻。

災難・失敗を越えて

椎野若菜:小西公大 編

予期せぬ事態にどう対応したのか? フィールドワーカーたちは、想定外の 事件に遭遇したり、命の危険があるほどの失敗があっても、現場に対処し ながらくぐりぬけている。今だから語れる貴重な体験談がおもしろい!

経験からまなぶ安全対策

天変地異、病気、怪我、事故、政変、喧嘩など、予期せぬさまざまな危険から どう身を守るのか。「予防」と「対策」をテーマにした実用的な巻。個人レベル から組織レベルまで、安心安全のための知識と方法と教訓が役立つ。

フィールド技術のDIY

現場での調査観測は、必ずしも予定通りに進まないことが多い。また思わぬ 事象、現象、資料に遭遇することもある。想定外のチャンスを、現場で、 また研究室でどのようにものにしたのか。その苦労、工夫を紹介する。

衣食住からの発見

現地の衣食住とかかわることで、思いがけないプラス効果やマイナス効果に 出会う。その先に、次なる展開がまっていることも。衣食住をきっかけに、 フィールドワーカーが成長し、研究テーマを深めていく過程を描く。

女も男もフィールドへ

椎野若菜:的場澄人 編

ジェンダーとセクシュアリティがテーマ。女性の苦労、男性の苦労、妊娠・ 出産・子育てしながらの調査、長期の野外調査と家庭の両立など、フィールド ワーカーの人生の試行錯誤が語られる。

フィールドノート古今東西

情報化が進み、世界中のデータがデジタル化される現代にあっても研究者は 手書きで記録を取っている。フィールドでの記録の手法を学際的に比べる ことで、フィールドノートのさらなる発展を期することを目指している。

フィールド写真術

秋山裕之:小西公大:村田悟 編

写真撮影を上達したいフィールドワーカーのために、一眼レフカメラによる 写真撮影の基礎から、フィールドでの撮影条件を意識した主題を的確に 描写するためのテクニック、芸術性の向上につながる写真術について概説。

フィールド映 像 術

映像についての理論編、制作編、応用編からなり、フィールドワーカーが 映像を活用するにあたっての注意点から、現地の人びととともにつくる映像、 自然・動物を相手にした映像まで分野を横断したフィールド映像術。